



試験出題要綱

資格: *SuperStream-FA+ Professional*

◆ 参考文献(製品マニュアル)

- *SuperStream-FA+* システム操作ガイド
- *SuperStream-FA+* システム設定ガイド
-

◆ 推奨トレーニングコース

- *SuperStream-FA+*固定資産管理コース
- *SuperStream-FA+*リース資産管理コース
- *SuperStream-FA+*導入コース

※トレーニングコースについては、*SuperStream Support Information(SSI)*を参照ください。

◆ 試験トピックス

(1) *SuperStream-FA+*適用範囲について

- ・固定資産管理の業務範囲
- ・リース資産管理の業務範囲

(2) パッケージ機能の具体的な使用方法と設定

【固定資産】

- ①減価償却費管理
 - ・基礎的な償却計算の理解
 - ・償却計算関連の各種会社方針の決定
 - ・会社情報と税務情報の影響範囲
- ②資産管理項目の決定

【リース資産管理】

- ①リース会計の基礎的理解
- ②リース契約・物件 管理項目の決定
- ③リース料管理にかかわる管理項目の決定

【減損会計】

- ①減損会計の基礎理解
- ②*SuperStream-FA+*の減損会計機能範囲

(3) パッケージマスタ登録について

- ・基本マスタ登録
- ・オプションマスタ登録

(4) 残高移行について

- ・既存システムからの移行方法の検討
- ・本番データ移行計画とタイミング
- ・検証方法と検証範囲の決定

(5) 運用計画の決定

- ・日次、月次、年次処理の運用検討
- ・実務運用者用の内部教育指導

◆ 試験概要

- 設定時間 : 60 分
- 合格ライン : 75%
- 試験形式 : CBT (Computer Based Testing)
(コンピュータに用意されたテスト問題に、マウスやキーボードを使って解答する方式です。)
- 資料閲覧 : 試験会場への参考資料持ち込み、試験中の参考資料閲覧はできません。
- 受験資格 : 制限なし

◆ 出題方式

テスト問題は、全て選択式の問題です。記述式の問題はありません。

選択式の問題には、「単一選択方式」と「複数選択方式」があります。

◇単一選択方式 : 解答を、1つしか選ぶことができない問題です。

選択肢の中から、最も適切な解答を選択することになります。

◇複数選択方式 : 解答を、複数選ぶことができる問題です。

正解であると思われる解答全てに、チェックをすることになります。

ただし、複数選択方式であっても、正解が1つしか存在しない場合もあります。

◆ 問題サンプル

解答選択肢は、問題により複数表示されます。『ラジオボタン』での表示の場合は単一選択方式、『チェックボックス』の場合は 複数選択方式での出題となります。下記の問題例をご参照ください。

例1)

問題	<p>“固定資産情報の移行”を行なう際の手順について、正しい記述を選びなさい。</p> <p><条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2006年10月以降、旧システムは使用せずFA+でのみ固定資産管理を行う。 ・決算日は、3月31日である。 ・2007年1月に提出する償却資産申告書は、FA+から出力したい。 ・2005年12月以前から償却が始まっている資産があるものとする。 ・2005年以前から、償却資産申告対象の資産があるものとする。 ・償却資産税増減判定を実行日基準と設定している会社とする。
回答選択肢 (単一選択方式)	<p>管理単位マスタの現在処理年月を「2006年12月」に設定した上で、 <input type="checkbox"/> 「2006年12月」の償却計算を終えた結果を移行する。 以降、2007年1月から2007年9月の履歴を順次入力していく必要がある。</p> <p>管理単位マスタの現在処理年月を「2007年1月」に設定した上で、 <input type="checkbox"/> 「2006年12月」の償却計算を終えた結果を移行する。 以降、2007年1月から2007年9月の履歴を順次入力していく必要がある。</p> <p>管理単位マスタの現在処理年月を「2007年4月」に設定した上で、 <input type="checkbox"/> 「2007年3月」の償却計算を終えた結果を移行する。 以降、2007年4月から2007年9月の履歴を順次入力していく必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 管理単位マスタの現在処理年月を「2007年10月」に設定した上で、 「2007年9月」の償却計算を終えた結果を移行する。</p>

例2)

問題	【仕訳データ作成】で、「仕訳作成方法＝集計」を選択した場合について。 集約前の仕訳に対して、どの項目が同じであった場合に集約されるか。 集約のキーとなりうる項目を選びなさい。
回答選択肢 (複数選択方式)	<input type="checkbox"/> システム区分 <input type="checkbox"/> 種類コード <input type="checkbox"/> 部門コード

以上